

## 中学校社会科地図の改訂を終えて

奈良教育大学助教授 岩本廣美

平成18年4月から中学校で使われる新しい帝国書院発行地図帳の見本本ができあがりました。改訂にいたるまでには、従来にも増して、著者一同および編集部スタッフからなる話し合いの場、方針や企画をめぐる熱い議論が交わされ、また、スタッフの試作した原図をもとに細部にいたるまで検討が重ねられました。その結果、総ページ数が10ページ増えたばかりでなく、内容的にも現行本をさらに充実させた地図帳になりました。

今回の改訂のポイントは次の3点です。

- (1) ヨーロッパ拡大図の図取り変更・充実
- (2) 都道府県・国の調べ方ページの変更・充実
- (3) 主題図の全般的見直し・いっそうの充実

1点目のヨーロッパ拡大図の充実、今回の目玉ともいえるべき重要な改訂部分です。現行地図帳では、ヨーロッパを大観できる1,600万分の1基本図2ページの後に、800万分の1拡大図「ヨーロッパ中央部」を掲載してきました。しかし、この拡大図は、地理的分野での活用機会が多いうえに、日本人一般の関心の高い国々が数多く現れている地図です。いっそうの充実を望む声はかねてより多いこともあり、今回の改訂では思い切ってヨーロッパの拡大図に6ページを割くことにしました。「ヨーロッパ中央部」と「地中海地方」に分けて、800万分の1の3ページ構成による見開き地図を2枚掲載しました。中学校用地図帳としては画期的な図取りとなったこの改訂によって、これまで埋もれがちであった中央～東ヨーロッパの諸国たとえばウクライナ、ベルラーシなどを確実に捉えることが可能になり、また、ギリシャ、イタリア、スペイン、ポルトガルなどもより詳しく把握できるようになりました。最近、イタリアやスペインなどで活躍する日本人サッカー選手が増えましたが、拡大図「地中海地方」が選手以上に大いに活躍しそうです。また、ギリシャ、スペイン、ポルトガルなど歴史的分野で登場する国々を地図帳で調べる機会も増えそうです。

2点目の都道府県・国の調べ方を解説したペー

ジは、平成10年版学習指導要領で示された内容に沿って現行地図帳で初めて設けられました。しかし、現行のものは、地図帳の後半にあつて目立たず、内容的にも物足りないとの指摘がありました。そこで、改訂版では、地図帳の冒頭箇所配置するとともに、分量は4ページへと倍増させ、内容的にも生徒の主体的な使用をいっそう促す記述を充実させました。地図帳を活用した都道府県調べや国調べの活性化が図られることは間違いありません。

3点目の主題図に関しては、改訂版で大幅に変更・改善させたものが四つあります。現行地図帳ではそれぞれ見開き2ページ構成で配置した「人間活動と環境問題」、「日本の工業と世界の結びつき」、「大陸から見た日本」および3ページ見開き構成「日本の自然環境」の四つです。環境問題に関するページは、改訂版では「さまざまな問題がひそむ世界の自然」のタイトルでリニューアルさせ、写真をふんだんに盛り込んだ親しみやすい構成でp.15～16に配置しました。工業に関するものは、「世界と結びつく日本の工業」と「日本の工業の変化」の2見開き構成で計4ページ分配置し、大胆な変更で一新しました。この4ページは、教科書のとくに第3部で大いに役立ちそうです。現行地図帳掲載の「大陸から見た日本」は、斬新な企画による地図でしたが、盛りだくさんで読み取りにくいとの指摘もあり、改訂版では「東アジアと日本」に焦点化させました。日本列島と周辺諸国がよりすっきり読み取れるようになりました。「日本の自然環境」は、現行地図帳「地図で見る土地利用の変化」をリニューアルさせたものです。大幅に変更・改善した四つの主題図のうち二つは環境に関するものです。「21世紀は環境の時代」との認識に立ち、環境の保全や問題に関する主題図には引き続き重点をおいた構成にしています。

改訂に関わった者一同として、新しい地図帳が先生方や生徒の皆さんにいっそう愛され、活用されることを心より願っています。